

■主な事業

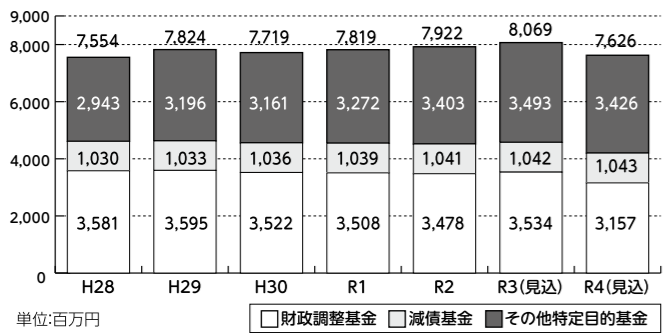
事業名等	予算額	事業名等	予算額
ゼロカーボン促進事業補助金	500万円	農業活性化対策事業関係補助金・助成金	4,062万7千円
若者定住促進新築住宅取得支援事業補助金	3,250万円	林道新設改良工事関連	2億4,613万4千円
旅行商品造成支援補助金	500万円	家庭ゴミ等処理費関連	2億5,012万8千円
プレミアム商品券補助金	2,050万円	水道事業会計負担金(水道料金減免分)	4,371万3千円
大学生等応援給付金	3,500万円	町道新設改良工事関連	8億2,201万7千円
地域貢献プロジェクト事業補助金	300万円	地籍調査事業	5,596万3千円
町議会議員一般選挙費	2,609万8千円	本庁舎駐車場照明設備改修工事	1,000万円
新型コロナウイルス予防接種関連	1,979万4千円	南山スポーツ公園整備工事	9,749万3千円

※人口減少と地域経済の縮小を克服し、本町経済の持続的な好循環を確立するために策定した「日高川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」関連の主な事業は次のとおりです。

事業名等	予算額	事業名等	予算額
若者定住促進新築住宅取得支援事業補助金【再掲】	3,250万円	子ども医療費	3,480万円
空き家家財片付け・改修事業補助金(移住対策)	440万円	乳児おむつ助成金	234万円
定住支援業務委託事業	300万円	在宅育児支援事業給付金	600万円
結婚新生活支援事業補助金	300万円	地域未来塾関連	217万円
出生祝金	335万円	プレミアム商品券補助金【再掲】	2,050万円

■基金の状況

基金は、まちづくりのために貯めたお金のことで、代表的なものに財政調整基金、減債基金があります。財政調整基金とは、経済不況などによる大幅な税収の減少や災害の発生などによる思わぬ支出の増加に備えて、剰余金などを積み立てておく基金で、減債基金とは借入金返済のための基金です。その他特定目的基金とは、特定の目的を計画的に実施するために積み立てた基金で、公有財産管理基金のように施設の整備や維持管理の目的のために積み立てた基金などがあります。



※上記の基金は、普通会計に属する基金です。

■令和4年度 一般会計・特別会計 当初予算

一般会計は、そのまわりの中心となる会計で、基本的な行政運営経費を経理する会計です。特別会計は、特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別して個別に経理する会計です。各会計ごとの予算額は右表のとおりです。

会計	令和4年度	令和3年度	比較増減
一般会計	86億8,000万円	85億7,000万円	1億1,000万円
特別会計			
笠松農業用水及び公共用水管理運営	193万9千円	193万9千円	—
国民健康保険事業	14億5,896万円	14億4,702万3千円	1,193万7千円
国民健康保険事業川上診療所	9,740万8千円	9,668万1千円	72万7千円
国民健康保険事業寒川診療所	6,494万3千円	5,833万8千円	660万5千円
後期高齢者医療	3億562万6千円	2億8,808万5千円	1,754万1千円
介護保険事業	14億3,815万2千円	14億3,646万7千円	168万5千円
下水道事業	3億4,492万9千円	3億3,956万円	536万9千円
川上財産区	39万8千円	39万8千円	—
寒川財産区	63万円	60万円	3万円
合計	123億9,298万5千円	122億3,909万1千円	1億5,389万4千円

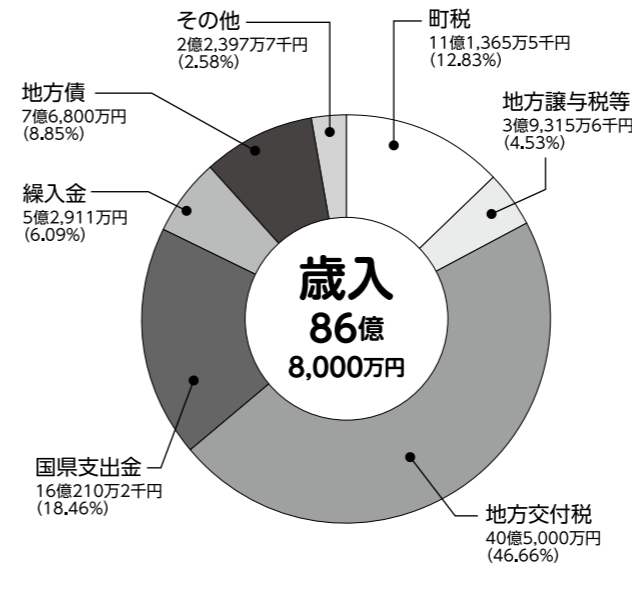
令和4年度 日高川町水道事業会計 当初予算

会計	令和4年度	令和3年度	比較増減
収益的収入	2億2,490万円	2億2,799万6千円	▲309万6千円
収益的支出	3億4,267万4千円	3億5,769万3千円	▲1,501万9千円
資本的収入	2億8,261万2千円	3億2,923万8千円	▲4,662万6千円
資本的支出	3億1,441万円	3億6,139万5千円	▲4,698万5千円

令和4年度 当初予算の概要

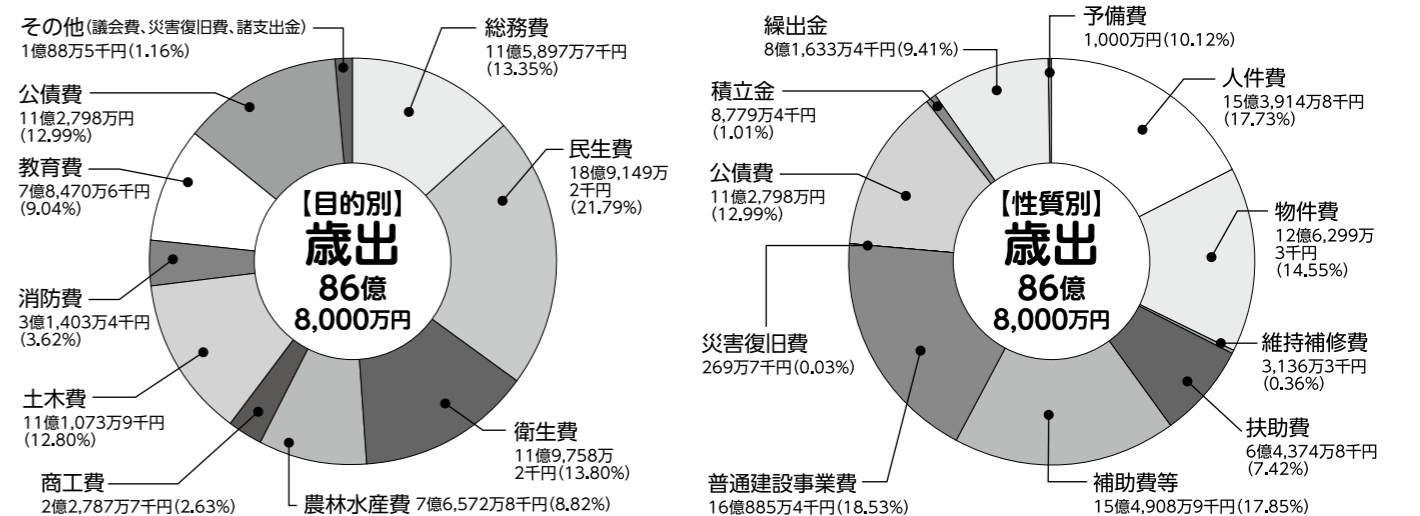
予算は一般会計年度の経費とその財源を示した財政上の計画として、歳入・歳出を体系的に整理したものであり、1年間の行動計画・政策を財政面から明確にするものです。令和4年度当初予算につきましては、前年度より1億1,000万円増額の86億8,000万円となりました。本年度におきましては、町税や地方交付税において増額を見込んでいますが、経費節減に努めながら補助金の確保など創意工夫して財源確保に努め、人口減少対策として若者定住支援や子育て支援、産業振興や高齢者支援などに取り組んでいます。また、ゼロカーボンシティ宣言に係る施策や新型コロナウイルス感染症対応に係る支援策なども予算計上しています。

一般会計



歳出総額 86億8,000万円

歳出予算では、物件費や積立金で減少しているものの、公債費で517万9千円の増額、扶助費では新型コロナウイルス感染症対応に係る大学生等応援給付金などにより2,755万3千円の増額、南山スポーツ公園整備工事などにより普通建設事業費で9,310万5千円の増額となり、昨年度と比べ歳出合計で1億1,000万円の増加となりました。



用語解説 ▶ 歳出(目的別)

総務費…行政全般的な事務などの費用
 民生費…高齢者、児童、障害者などの福祉向上に関する費用
 衛生費…健康診断などの保健事業、ごみ処理などの環境衛生の費用
 農林水産費…農業、林業などの振興のための費用
 商工費…商工業、観光の振興のための費用
 土木費…道路、橋、住宅など各種公共施設の建設、管理の費用
 消防費…消防、防災に関する費用
 教育費…学校教育、社会教育、スポーツ、文化財保護に関する費用
 公債費…借入金の元金・利息の費用

歳入総額 86億8,000万円

町税は、昨年度と比較し895万8千円の増額を見込んでいます。地方譲与税等では、地方消費税交付金が1,000万円の増額となり全体で2,907万円の増額、地方交付税では、普通交付税において算定項目の追加などにより増額を見込んでおり全体で1億5,000万円の増額となります。また、国の補助金を活用して各種事業を積極的に計画していることから国庫支出金で6,079万5千円の増額、一方、県支出金では7,340万1千円の減額となっています。その他、各種事業実施に伴い特定目的基金の繰入れや財政調整基金の繰入れ、地方債の借入を見込んでいます。

用語解説 ▶ 歳入

町税…町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税、入湯税など住民の皆様から町へ納めていただく税金です。
 地方譲与税等…国税や県税として徴収され、町に譲与されるお金で、自動車重量税とがあります。
 地方交付税…市町村が一定水準の行政サービスを維持できるよう、財政力に応じて、国から交付されるお金です。所得税、消費税などの国税の一部から地方公共団体に再配分されます。
 国庫支出金…特定の事業の財源として、一定の割合で国や県から補助されるお金です。
 繰入金…基金を取り崩したお金です。
 地方債…道路整備などたくさんのお金が必要な事業を実施するときに借り入れるお金です。
 【入湯税(見込額:90万4千円)は、観光振興施策の財源に充てています。】
 【地方消費税交付金の社会保障財源分(見込額:1億300万円)は、社会保障施策の財源に充てています。】